

## 第2回 理事会議事録

### 1.開催日時及び場所

- (1)日 時 2020年10月4日(日) 午後 10:30~12:00  
(2)場 所 親蔦会クラブ

2.出席者 理事 12名・顧問 1名・相談役 0名・監事 0名 計 13名

### 3.付議事項

1. 2020年度事業経過報告に関する件
2. 親蔦会創立90周年記念事業の件
3. 各委員会活動報告
4. 理事会体制の件
5. その他

### 4.議事

議事に先立ち、柴田教頭先生に挨拶を頂いた。

その後、山本会長が議長に就任、議事録署名人に次の2名を指名し、会場に異議を問うたところ、会場から異義なく拍手にて承認された。

山田保枝、白石美弥子

### 議題

#### 1. 2020年度事業経過報告の件

事務局より報告。新型コロナの影響で第90回総会は母校→親蔦クラブに急遽場所を変更して実施した。その際、三密防止の為今回に限り議決権の行使を有効とし、運営委員宛に事前に資料を送付、参加、委任状参加、議決権行使の何れかを選択して頂いた。結果、参加21名(内運営委員19名)、委任状参加30名、議決権行使10名、計61名(内運営委員59名)となった。

運営委員総数68名につき、総会成立できた。

続いて、9月30日現在の収支予算事業別区分内訳書並びに報告書に基づき報告を行った。

本報告の正会員会費は5年会費再計算済の値で、レジメ記載の額は実納入額である。

表の右端に9/30現在の予算充足率を表示しているので参考にして頂きたい。

在校生会費は毎年1~3月にまとめて振り込まれる為、現在は0円となっている。親蔦クラブの使用料収益が落ちてきている所にコロナでクラブ休止が続き、当初見込みの半分程度まで落ち込んでいる。今後、新規利用者を開拓していく必要がある。来年に延期した90周年祝賀会会費の払い込みが29件有り、払い込み者には延期の旨連絡し、会費は来年まで預かる了承を得た。

支出に関しては、総会形態変更やコロナによる総務委員会等の中止に伴い、会議費支出が大幅に減少した。それ以外は予算通り堅調に推移していると考え。今後、会員情報システムの更新費用約40万円の支出が予定されている以外の大口支出は無いと考える。

計上済の総会費用と印刷製本支出の2件に関し、詳細を別紙にて報告する。総会費用は、親蔦クラブ使用につき会場費は0、アトラクション費用も0、各支部会長も不参加の為交通費も0となったが、コロナ禍をおして参加頂いた各位に交通費を支給した。計1.6万円の支出となった。印刷製本支出は蔦印刷代と送料、海外向け送料と振込手数料からなっている。海外向け発送はコロナによる海外郵便取り扱い停止の為未発送となっている。それ以外の合計で¥2,891,896となり、予

算内に収まっている。消費増税による印刷費単価上昇分を、以前より取り組んでいる一家複数冊→1~2冊/一家に変更する部数削減策でカバーし、昨年程度の費用で収める事が出来た。

募集中の人材バンク登録者は9/30:現在61名であり、毎月実施中のオープンデーにて講演頂く等活動中である。オープンデー実施履歴を添付する。

オープンデーは今後も色々と計画していくので、多数の参加をお願いする。

## 2. 2020年、親蔦会創立90周年記念事業の件

新型コロナの関係で、記念祝賀会は来年10月3日(日)に延期とする。

祝賀会の講演・演奏・司会等全て来年の延期に同意を頂く事ができ、予定通りの内容での実施となる。記念事業の一環として親蔦クラブの内装や什器の改装を計画中。渡辺年間行事企画委員長より中間報告があった。記念事業寄付は今年度も150万円の納入を頂いた。

## 3. 各委員会活動報告

各委員長より活動報告を行った。

### ・総務委員会

向田委員長より報告。現在ほぼ毎月総務委員会を開催中である。親蔦クラブ改装後に開催予定の「ふれあい喫茶」の試行を開始している。

### ・広報委員会

大江事務局長より報告。コロナで回生同窓会や支部懇親会は軒並み中止となっている為、次号のページ数を削減しては?との案に対し見積を入手、4ページの減頁で5万円程度しか削減できない事を説明、次号も同ページで計画する事となった。余裕のできた頁に掲載する記事の内容を今後編集会議で検討していく。

### ・年間行事企画委員会

渡辺委員長より報告。親蔦クラブ改修に関して、会長・戸田副会長・向田総務委員長とIKEAに出向き作成してもらったレイアウトプランが開示された。今後検討を進め、来年の蔦56号に改装後の親蔦クラブを紹介する予定である。

### ・会費納入促進委員会

宮原委員長欠席につき会長より報告。会費納入率悪化対策の為、今年度は例年通り還暦を迎えた回生や卒後30年目の回生、及び今回より2名が新理事として加入したY28回生対象に会費納入促進作戦を実施する。

### ・ホームページ活性化委員会

堀江委員長欠席につき今回は報告案件なし

### ・総会活性化委員会

戸田委員長より報告。来年の総会は6/6(日)場所は今年実現できなかった母校開催を希望。柴田教頭先生より、母校開催は一応了解、但しコロナの流行状況により断る事もあるとの回答を頂いた。今後母校での実施内容を再度検討する。

## 4. 理事会体制の件

法人登記が完了したので、現体制表を添付する。来年度で理事3名、監事1名が任期満了となる。うち、監事1名は退任希望が出ており後任の監事の人選が必要。理事3名は今後継続希望の意思確認を実施する。又今年新任の立山理事は来年より事務局勤務となる予定で、こちらも後任の人選が必要となる。

## 5. その他

・会長より、H28年度から現在までの年毎の主な収支をまとめた収支概要資料を配布。

資料により、親蔦クラブの維持費等で年間約150万円が必要である事、今後更なる会費納入の促進が無ければ会の維持が難しくなる事等の説明があった。次の10年へ向けて、新たな時代へのグレートリセットとして、理事はボランティア、事務局は有償ボランティアである事の再確認。財源確保の為、会費納入促進の他、給与を除く支出の3~5%削減を目標とする、広告料や教室

使用料の増収を図る事、将来的な会費値上げの検討や、終身会費納入者の中でゴールド会員化の呼びかけ等の案が提示された。今後更なる検討を開始する。

- ・柴田教頭先生より、母校の強化策の一環として、制服の変更を考えている旨報告があった。今後、生徒会、PTA、学校、及び親蔭会で代表会議を設立し検討をしていく事になる。親蔭会からは戸田副会長と藤田理事を代表に推薦する予定である。

## 5. 閉会

最後に議長は、それ以上の動議の無い事を会場に確認の上、閉会を宣した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人は次の通り

記名捺印する。

2020年10月8日

議 長 山本 幸男 印

議事録署名人 山田 保枝 印

議事録署名人 白石美弥子 印